

環境配慮型製品の国際展開の推進にむけての課題と要望

[官民連携プラットフォーム会合]

2014年10月30日

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

① クライテリアのハーモナイゼーション

エコマーク事務局で、事務機に関しては、日本・中国・韓国等との間で相互認証制度を進めて頂いており、さらに、相互認証制度のもとで、共通クライテリアの設定を進めて頂いています。

今後、さらに共通クライテリアの拡大を進めて頂きたいと思います。

また、アジアでも様々な環境ラベルが制定されている状況において、可能な限りそれらの国も含めたクライテリアのハーモナイゼーションおよび相互認証制度の拡大を行って頂きたいと思います。

その際に、共通化されたクライテリアであっても解釈が異なることもあるため、運用上の問題として、各国当局によって要求される提出資料が異なるなどを避けるため、各クライテリアへの適合を示すためのエビデンスや申請資料の整合性も図って頂ける様お願い致します。

② 企業が基準作成委員や環境団体と直接オープンに議論できる国際的な枠組みの構築

各環境ラベルの基準策定・改定にあたっては、現状、各国当局がドラフトを作成し、現地の環境団体や工業会との議論を経て完成されますが、日本企業から見ると現地で行われる議論のポイントが不透明なことが多く、企業の意見が基準作成委員にきちんと届いていないという懸念があります。これらの課題を解決するために、基準検討の段階で、企業が直接、基準作成委員や環境団体、学識者も交えて、透明性の高い場で議論できるような、各環境ラベル共通の国際的な枠組みをつくっていただけるよう要望致します。

③ 認証製品に対するの共通監査

現在、認証取得製品に対するの定期的な工場監査が、各国認証機関によって実施されています。今後各国で環境ラベル機関による定期監査が実施されることになる場合、それぞれに対応することは非常な負担となることが想定されます。

監査を否定する意図はありませんが、各国認証機関によるそれぞれの監査に代わる共通監査制度の導入を検討頂きたいと考えています。例えば、各国認証機関が必要としている監査項目・内容を網羅した共通監査を、代表機関(または認定された代理の第三者機関)が監査し、その監査内容を相互認証の枠組みに入っている国の環境ラベル機関と共有するという仕組みの導入を検討いただける様お願い致します。

④ ASEAN 各国の横連携

ASEAN 各国の横連携に関係があるかどうかわかりませんが、韓国エコラベルは、ベトナムのエコラベルに対する支援を行っているようです。

そのため、ベトナムの環境ラベルに画像機器基準が策定されると聞いて、エコマークをベースとしてくれるよう個社様から働きかけていただきましたが、すでに韓国エコラベルをベースとすることが決まっている、という回答をいただきました。韓国エコラベルは Blue Angel を踏襲しているため、大きな問題はありませんでしたが、一部韓国特有の解釈が入ってしまった部分があり、是正できるか懸念されます。

少なくとも、アジア地域における画像機器の基準においては、日本がより強い影響力を発揮できるようにしたいと考えます。

以上